平成２０年度　広島市立矢野西小学校経営計画

広島市立矢野西小学校

学校教育目標　「　自ら学び，考えて行動する，心豊かで，たくましい児童の育成　」

・目指す子ども像

1	自ら学ぶ子	・ 自ら課題を見つけ，進んで学ぶ子ども	・ 学び方や学ぶ喜びを知る子ども
2	考えて行動する子	・ 今，何をするか考えて行動する子ども	・ 筋道を立てて考える子ども
3	心豊かな子	・ 自分や他人，自然も大切にする子ども	・ 思いやりの心を持ち，共に伸びようとする子ども
4	たくましい子	・ 心も体も健康な子ども	・ 最後まで粘り強くやりぬく子ども

目指す学校像（ビジョン）

や さしさあふれる矢野西　　の びていく矢野西　　に 一ずに応える矢野西　　し っぱいも生かす矢野西

ア　基礎・基本の学力の確実な定着を図る学校
イ　一人一人の個性を伸ばし，自己教育力を育成する学校
ウ　一人一人を大切にし，心豊かで思いやりのある子どもを育成する学校
エ　学習に直結し，情操豊かな心情を培う教育環境を整備する学校
オ　地域に学び，地域の教育力を活用し，情報発信する学校
カ　教職員が日々の授業を充実させ，分かる授業・学ぶ喜びのある授業を創造する学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				努力指標	成果指標
学力の向上	創造的，計画的な教育活動を推進し，学ぶ意欲を向上させ，確かな学力を定着させる。	ねらいの明確な授業を行い，児童の理解度を高める。	評価基準を記入した週案を作成して，計画的に授業を行い，学習のねらいを達成できるようにする。	具体的な評価基準を記入した週案を作成する。	児童が学習のねらいを達成している。
		個に応じたきめ細かな指導をし，基礎・基本の学力を向上させる。	児童一人一人の学び方や課題を把握し，学力補充の取組を通し，基礎学力の定着を図る。	個に応じた指導を実施する。	基礎・基本の学力が定着している。
		★児童のコミュニケーション能力を高める。	国語科を中心に，児童のことばの力の育成を目指し，多様な意見を引き出す発問・板書について研究を深め，実践する。	国語科で児童から多様な意見を出せる主要発問・板書を考える。	児童が多様な意見をもち，友達（班・学級全体）とかかわりを持ちながら意欲的に発表することができる。
			英語に興味をもち，簡単なあいさつや自己紹介ができるようにする。	児童が興味を持てるよう，教材や教具を工夫する。	児童が英語の授業を楽しみにし，意欲的に学習に取り組んでいる。
豊かな人間性の育成	道徳教育や体験活動を充実し，心豊かで思いやりのある子どもを育成する。	道徳教育を推進し，道徳的心情・判断力・実践力を高める。	参観日に行う道徳の授業や全体授業などについて，学年で研究を深め実践する。	道徳の時間の充実を図るため授業づくりについての研究をする。	児童ひとり一人に思いやりが育っている。
		★基本的生活習慣を定着させ，落ち着いて生活できるようにさせる。	「にしっ子のやくそく」をもとに，生活目標について「ふり返りカード」を活用して取り組む。	毎月の生活目標をふり返る。	生活目標のような生活態度をとることができる。
			あいさつ運動に，年間を通して取り組む。	あいさつ運動を実施する。	進んであいさつができるようになる。
まちぐるみによる教育の推進	保護者・地域住民の願いを受け止め，「信頼される，開かれた学校づくり」に努める。	各種たより，ホームページの更新，学習公開などを行ない，保護者や地域に積極的に学校の様子や学校評価を知らせ，教育活動への理解を深める。	各種便り（学校・学年・学級・保健・給食など）を発行し，教育活動への理解を深める。	月１回以上便りを発行し，ホームページは学期に２回以上更新するなど，情報を積極的に発信する。	保護者や地域の方に本校教育への理解が深まった。
		★地域の人材や素材を活用した学習活動を推進し温かい人間関係を育む。	矢野町の伝統産業・文化・芸能などについてのスペシャリストやボランティアの方を招聘して，学習活動を充実させ，便り「春風」を発行する。	スペシャリストやボランティアの方を招聘した学習を年２回以上,計画的に実施する。	充実した体験活動により，学習が深まった。
				主体的に体験活動に参加できるよう，学習活動を工夫する。	地域の人に対してより親しみを感じ，感謝することができる。
健康・安全教育の推進	安全教育・健康教育・体力つくりを推進し，心身ともに健康で安全な生活が送れるようにする。	★安全教育を充実させ,安全な生活ができるようにする。	防犯教室を年２回以上計画するとともに，長期休業前の指導や，普段の学級指導などを活用して，安全指導に取り組む。	防犯教室や安全指導を行う。	犯罪や危険から身を守る方法が分かる。
			生活ふりかえりカードを活用して，安全な学校生活が送れるようにする。	長期休暇前に生活を振り返らせ次期の生活に役立てる。	安全に生活できるようになる。
		食に関する指導を充実させ,望ましい食習慣を身につけさせる。	学級指導や総合的な学習，関連する教科を通して，食育を行う。	学級ごとや機会に応じて全校や学年ごとに食に関する指導を行う。	食についての理解が深まり，好き嫌いなく食べようと努力するようになる。
		★体力つくりを推進し,児童の体力を向上させる。	新体力テストを全学年で実施し，分析するとともに，児童一人ひとりも自分の体力を知り，自分にあった体力づくりを実践する。	新体力テストを実施し，結果の分析を行い，児童の体力づくりに役立てる。	自分の力を知り，体力や運動能力を伸ばすために役立てる。
			体育の授業の中で，体力づくりの運動を継続して行う。	体力づくりの運動（サーキット，にしっこトレーニング）を継続して行なう。	体力づくりの運動により体力が向上したと実感する。